

「ブラック企業」根絶へ、実効ある施策を求める意見書を 国に提出することを求める請願

【請願趣旨】

新卒の若者を大量採用、長時間・過密労働、パワハラなどで駆り立て、精神的にも追い詰めて大量退職に追い込むなど、不当な雇用管理を行う「ブラック企業」が社会問題になっています。

ブラック企業による、労働者や若者を使い捨てにするような雇用のありかたは、長い目で見た経済発展、技術継承、少子化克服などの課題に逆行し、社会負担を増加させることから、健全な社会発展とは相いれないものです。

ブラック企業によって、労働意欲のある若者が、心身の体調を壊すなどして次々につぶされていく実態は、学生や高校生、子どもたちなど、次世代の担い手たちの将来にも大きな影を落としています。

いまこそ、ブラック企業を根絶し、労働者や若者を守るための実効ある施策の実施が求められています。

- ①雇用問題の相談窓口を設置・拡充し、若者への就労支援を拡充してください
- ②早期離職率が高い企業、悪質な法令違反を行った企業名を公開し、監督・指導を強化してください
- ③労働行政の監視・指導體制を強化してください

【請願項目】

国に対して、「『ブラック企業』根絶へ、実効ある施策を求める意見書」を提出してください